

令和 4 年 度

岡山県後期高齢者医療広域連合

一般会計 歳入歳出決算審査意見書
特別会計

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員

目 次

各会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象	1
第2 審査の期日	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1
1 決算の総括	2
(1) 決算規模	2
(2) 決算収支	3
2 一般会計	4
(1) 歳入	5
(2) 歳出	6
3 後期高齢者医療特別会計	8
(1) 歳入	9
(2) 歳出	14
4 財産に関する調書	16
5 むすび	17

(注) 文中の比率、各表の比率及び数値は、原則として表示の1桁下位で四捨五入した。
このため計数が一致しない場合がある。

令和4年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和4年度岡山県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算

令和4年度岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
(決算附属書類)

令和4年度各会計歳入歳出決算事項別明細書

令和4年度各会計実質収支に関する調書

令和4年度財産に関する調書

第2 審査の期日

令和5年7月5日

第3 審査の方法

審査に当たっては、令和4年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算書及び証書類並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書が関係法令に適合して調製されているかどうかを確認し、これらの計数を会計管理者所管の関係諸帳簿及び証拠書類と照合することにより実施した。

また、予算の執行状況等については、これらの資料のほか、例月出納検査及び定期監査の結果も考慮に入れながら、必要に応じ関係職員からの説明を聴取し、その適否について審査した。

第4 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認めた。

予算執行において、歳入の一部に収入未済や不納欠損があったが、適正に執行されていると認めた。

なお、各会計の決算状況及びこれらに対する審査意見は、次のとおりである。

1 決算の総括

(1) 決算規模

一般会計及び特別会計の決算額は

歳入	2,927億 16万 613円	(予算現額に対する収入歩合	100.00%)
一般会計	3億 1,828万 3,663円	(同	99.14%)
特別会計	2,923億 8,187万 6,950円	(同	100.00%)
歳出	2,926億 8,689万 1,167円	(予算現額に対する執行率	99.99%)
一般会計	3億 1,514万 7,367円	(同	98.16%)
特別会計	2,923億 7,174万 3,800円	(同	100.00%)
歳入歳出差引額	1,326万 9,446円		
一般会計	313万 6,296円		
特別会計	1,013万 3,150円		

となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

決算規模の推移

年度	歳入		歳出	
	決算額	対前年度 増、減(△)額	決算額	対前年度 増、減(△)額
R 2	279,738,727,550円	△2,443,728,141円	279,675,743,833円	△2,495,878,505円
R 3	287,410,230,261円	7,671,502,711円	287,393,433,663円	7,717,689,830円
R 4	292,700,160,613円	5,289,930,352円	292,686,891,167円	5,293,457,504円

(2) 決 算 収 支

決算収支の状況は次表のとおりで、一般会計及び特別会計の総額では、歳入歳出差引額 1,326 万 9,446 円の余剰金が生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

決 算 収 支 の 推 移

区 分		令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
		円	円	円
歳 入 総 額 A	一般会計	318,283,663	77,520,058	72,225,235
	特別会計	292,381,876,950	287,332,710,203	279,666,502,315
	計	292,700,160,613	287,410,230,261	279,738,727,550
歳 出 総 額 B	一般会計	315,147,367	73,998,162	69,021,228
	特別会計	292,371,743,800	287,319,435,501	279,606,722,605
	計	292,686,891,167	287,393,433,663	279,675,743,833
歳入歳出差引額 (A－B) C	一般会計	3,136,296	3,521,896	3,204,007
	特別会計	10,133,150	13,274,702	59,779,710
	計	13,269,446	16,796,598	62,983,717
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	一般会計	0	0	0
	特別会計	0	0	0
	計	0	0	0
実質収支 (C－D) E	一般会計	3,136,296	3,521,896	3,204,007
	特別会計	10,133,150	13,274,702	59,779,710
	計	13,269,446	16,796,598	62,983,717
単年度収支 E－前年度の E	一般会計	△385,600	317,889	2,590,881
	特別会計	△3,141,552	△46,505,008	49,559,483
	計	△3,527,152	△46,187,119	52,150,364

2 一般会計

一般会計の決算額は、歳入3億1,828万3,663円(予算現額に対する収入歩合99.14%)、歳出3億1,514万7,367円(予算現額に対する執行率98.16%)、歳入歳出差引額313万6,296円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

一般会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対 前 年 度 増、減(△)額	決 算 額	対 前 年 度 増、減(△)額
R 3	77,520,058円	5,294,823円	73,998,162円	4,976,934円
R 4	318,283,663円	240,763,605円	315,147,367円	241,149,205円

決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額313万6,296円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

一般会計決算収支の推移

区 分	令和4年度	令和3年度
歳 入 総 額 A	318,283,663円	77,520,058円
歳 出 総 額 B	315,147,367円	73,998,162円
歳入歳出差引額 (A - B) C	3,136,296円	3,521,896円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C - D) E	3,136,296円	3,521,896円
単年度収支 E - 前年度のE	△385,600円	317,889円

(1) 歳 入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

一 般 会 計 歳 入 決 算 状 況

区 分		令和4年度 A	令和3年度 B	増、減(△) A－B
予 算 現 額		321,054,000円	77,519,000円	243,535,000円
調 定 額		318,283,663円	77,520,058円	240,763,605円
収入 済 額	金 額	318,283,663円	77,520,058円	240,763,605円
	対予算現額	99.14%	100.00%	△0.86%
	対調定額(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収 入 未 済 額		0円	0円	0円
不 納 欠 損 額		0円	0円	0円

収入済額は3億1,828万3,663円で、前年度に比べ2億4,076万3,605円増加している。

予算現額3億2,105万4,000円に対する収入済額は99.14%で、前年度より0.86%減少している。

調定額3億1,828万3,663円に対する収入済額は100.00%で、前年度と同率となっている。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	令和4年度					令和3年度	増、減(△) C-D
	予算現額	調定額	収入済額	収入歩合	収入未済額	収入済額	
	A 円	B	C 円	C/A %	B-C 円	D 円	
分担金及び負担金	89,000,000	89,000,000	89,000,000	100.00	0	74,300,000	14,700,000
財 産 収 入	5,000	4,777	4,777	95.54	0	3,617	1,160
繰 越 金	3,521,000	3,521,896	3,521,896	100.03	0	3,204,007	317,889
諸 収 入	10,000	14,430	14,430	144.30	0	12,434	1,996
繰 入 金	228,518,000	225,742,560	225,742,560	98.79	0	0	225,742,560
合 計	321,054,000	318,283,663	318,283,663	99.14	0	77,520,058	240,763,605

前年度と比較した主な増減については、事務電算機器等の更新のため分担金及び負担金が1,470万円増、医療給付費準備基金から財政調整基金への積立替え等のため繰入金が増2億2,574万2,560円増となっている。

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

一 般 会 計 歳 出 決 算 状 況

区 分		令和4年度 A	令和3年度 B	増、減(△) A－B
予 算 現 額		321,054,000円	77,519,000円	243,535,000円
支 出 済 額		315,147,367円	73,998,162円	241,149,205円
執 行 率		98.16%	95.46%	2.7%
翌年度繰越額	継続費通次繰越	0円	0円	0円
	繰越明許費	0円	0円	0円
	事故繰越し	0円	0円	0円
	計	0円	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%	0.00%
不 用 額		5,906,633円	3,520,838円	2,385,795円

支出済額は3億1,514万7,367円で、前年度に比べ2億4,114万9,205円増加している。予算現額3億2,105万4,000円に対し、98.16%の執行率となっている。

翌年度繰越額は0円である。

また、不用額は590万6,633円で、前年度に比べ238万5,795円の増加となっている。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

款・項	令和４年度					令和３年度	増、減(△) A－B 円
	予算現額 円	支出済額 A 円	執行率 %	翌年度 繰越額 円	不用額 円	支出済額 B 円	
議 会 費	1,049,000	772,263	73.62	0	276,737	805,214	△ 32,951
総 務 費	319,505,000	314,375,104	98.39	0	5,129,896	73,192,948	241,182,156
総務管理費	319,282,000	314,183,436	98.4	0	5,098,564	72,971,754	241,211,682
選 挙 費	139,000	127,840	91.97	0	11,160	150,190	△ 22,350
監査委員費	84,000	63,828	75.99	0	20,172	71,004	△ 7,176
予 備 費	500,000	0	0	0	500,000	0	0
計	321,054,000	315,147,367	98.16	0	5,906,633	73,998,162	241,149,205

議会費の支出済額は 77 万 2,263 円で、前年度に比べ 3 万 2,951 円減少している。
予算現額 104 万 9,000 円に対し、73.62%の執行率となっている。

総務費支出済額は 3 億 1,437 万 5,104 円で、前年度に比べ 2 億 4,118 万 2,156 円増加している。予算現額 3 億 1,950 万 5,000 円に対し、98.39%の執行率となっている。

なお、前年度と比較した主な増減については、総務費のうち総務管理費において、医療給付費準備基金から財政調整基金への積立替えに関するものが 1 億 4,798 万 3,560 円増、特別会計総務費の剰余金に伴う積立に関するものが 7,775 万 9,000 円増で、総務管理費が全体として 2 億 4,121 万 1,682 円増となっている。

不用額の主なものは、総務費の職員手当等、役務費、負担金補助及び交付金等で、経費の縮減などによるものである。

3 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入 2,923 億 8,187 万 6,950 円（予算現額に対する収入歩合 100.00%）、歳出 2,923 億 7,174 万 3,800 円（予算現額に対する執行率 100.00%）、歳入歳出差引額 1,013 万 3,150 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計 決 算 規 模 の 推 移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対 前 年 度 増、減(△)額	決 算 額	対 前 年 度 増、減(△)額
R 3	287,332,710,203円	7,666,207,888円	287,319,435,501円	7,712,712,896円
R 4	292,381,876,950円	5,049,166,747円	292,371,743,800円	5,052,308,299円

決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 1,013 万 3,150 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計 決 算 収 支 の 推 移

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
歳 入 総 額 A	292,381,876,950円	287,332,710,203円
歳 出 総 額 B	292,371,743,800円	287,319,435,501円
歳入歳出差引額 (A - B) C	10,133,150円	13,274,702円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C - D) E	10,133,150円	13,274,702円
単年度収支 E - 前年度の E	△3,141,552円	△46,505,008円

(1) 歳 入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計 歳 入 決 算 状 況

区 分		令和4年度 A	令和3年度 B	増、減(△) A－B
予 算 現 額		292,381,768,000円	287,333,124,000円	5,048,644,000円
調 定 額		292,388,948,519円	287,340,181,717円	5,048,766,802円
収 入 済 額	金 額	292,381,876,950円	287,332,710,203円	5,049,166,747円
	対予算現額	100.00%	100.00%	0.00%
	対調定額(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収 入 未 済 額		6,808,918円	6,062,422円	746,496円
不 納 欠 損 額		262,651円	1,409,092円	△1,146,441円

収入済額は2,923億8,187万6,950円で、前年度に比べ50億4,916万6,747円増加している。

予算現額2,923億8,176万8,000円に対する収入歩合は100.00%で、前年度と同率である。

調定額2,923億8,894万8519円に対する収納率は100.00%となっており、収入未済額は、前年度に比べ74万6,496円増加している。

不納欠損額26万2,651円で、前年度に比べ114万6,441円減少している。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	令和４年度						令和３年度	増、減(△)
	予算現額 A 円	調定額 B 円	収入済額 C 円	収入歩合 C/A %	不納欠損額 D 円	収入未済額 B-C-D 円	収入済額 E 円	
市町村支出金	51,603,994,000	51,603,994,205	51,603,994,205	100.00	0	0	49,550,814,693	2,053,179,512
うち保険料等負担金	28,041,561,000	28,041,561,923	28,041,561,923	100.00	0	0	26,305,733,442	1,735,828,481
うち療養給付費負担金	22,762,433,000	22,762,432,282	22,762,432,282	100.00	0	0	22,495,081,251	267,351,031
国庫支出金	95,892,039,000	95,892,039,903	95,892,039,903	100.00	0	0	93,091,341,922	2,800,697,981
うち療養給付費等負担金	69,628,551,000	69,628,551,146	69,628,551,146	100.00	0	0	67,672,619,584	1,955,931,562
うち高額医療費負担金	1,593,217,000	1,593,217,372	1,593,217,372	100.00	0	0	1,497,640,173	95,577,199
県支出金	23,912,542,000	23,912,543,210	23,912,543,210	100.00	0	0	23,284,844,140	627,699,070
うち療養給付費等負担金	22,287,540,000	22,287,540,627	22,287,540,627	100.00	0	0	21,754,250,967	533,289,660
うち高額医療費負担金	1,592,993,000	1,592,993,583	1,592,993,583	100.00	0	0	1,497,640,173	95,353,410
支払基金交付金	112,051,701,000	112,051,701,000	112,051,701,000	100.00	0	0	109,679,861,000	2,371,840,000
特別高額医療費 共同事業交付金	144,406,000	144,406,832	144,406,832	100.00	0	0	150,041,993	△ 5,635,161
財産収入	3,084,000	3,082,550	3,082,550	99.95	0	0	5,103,988	△ 2,021,438
繰入金	8,484,311,000	8,484,310,149	8,484,310,149	100.00	0	0	11,125,769,798	△ 2,641,459,649
繰越金	13,275,000	13,274,702	13,274,702	100.00	0	0	59,779,710	△ 46,505,008
諸収入	276,416,000	283,595,968	276,524,399	100.04	262,651	6,808,918	385,152,959	△ 108,628,560
計	292,381,768,000	292,388,948,519	292,381,876,950	100.00	262,651	6,808,918	287,332,710,203	5,049,166,747

前年度と比較した主な増減については、保険給付費等の増加に伴い、市町村支出金が 20 億 5,317 万 9,512 円増、国庫支出金が 28 億 69 万 7,981 円増、支払基金交付金が 23 億 7,184 万円増となっている。

なお、国・県・市町村の負担金及び支払基金交付金については、実績額に応じて翌年度に精算を行うこととなっており、令和３年度分の国・県・市町村の負担金返還金が令和２年度分よりも減額となったことに伴い後期高齢者医療給付費準備基金繰入金が 26 億 4,145 万 9,649 円減となっている。

また、諸収入において、一部負担金の負担割合に係る差額請求等における収入未済額が 680 万 8,918 円生じている。負担の公平性を確保する観点からも、収入未済額の早期解消に努められたい。

保険料等負担金の内訳は次表のとおりである。

保 険 料 等 負 担 金 内 訳 の 状 況

年度	保険料 円	延滞金 円	基盤安定分 円	計 円
R元	19,906,730,526	3,759,234	5,197,079,244	25,107,569,004
R 2	20,640,752,307	3,748,837	5,343,458,705	25,987,959,349
R 3	20,905,695,202	5,018,220	5,395,020,020	26,305,733,442
R 4	22,341,807,733	3,617,249	5,696,136,941	28,041,561,923
R4-R3増減	1,436,112,531	△ 1,400,971	301,116,921	1,735,828,481

保険料等負担金は280億4,156万1,923円で、前年度に比べ17億3,582万8,481円の増加となっている。これは、現年度分保険料収入が被保険者数の増加や保険料率の改定等により増加したことによるものである。

保険料収入と被保険者数の状況は次表のとおりである。

保 険 料 収 入 と 被 保 険 者 数 等 の 状 況

年度	保険料収入 A 円	年間平均 被保険者数 B 人	年間平均 被保険者数 前年度対比 人	1人当たり 保険料収入 $\frac{A}{B}$ 円	1人当たり 保険料収入 前年度対比 円
R元	19,906,730,526	293,938	6,403	67,724	1,723
R 2	20,640,752,307	297,093	3,155	69,476	1,752
R 3	20,905,695,202	298,406	1,313	70,058	582
R 4	22,341,807,733	307,520	9,114	72,652	2,594

保険料収入は223億4,180万7,733円で、前年度に比べ14億3,611万2,531円の増加となっている。

年間平均被保険者数は30万7,520人で、前年度に比べ9,114人の増加となっている。

1人当たりの保険料収入は7万2,652円で、前年度に比べ2,594円増加となっている。

保険料等負担金については、市町村が広域連合に納付すべき額を調定しているため調定額に対する収納率は100.00%となっている。なお、市町村における保険料収納状況については、12、13ページの表のとおり、市町村における調定額224億7,730万1,096円に対し、収納額は223億4,858万4,206円となっている。

収納率については、現年分が99.63%で、前年度に比べ0.03ポイント下降し、滞納繰越分が38.90%で、前年度に比べ0.91ポイント下降している。合計では99.26%で、前年度に比べ0.03ポイント上昇している。

不納欠損額については2,631万2,392円となっている。

保険料の収納率向上は、財政の一層の健全化において極めて重要であり、被保険者の不公平感を生み出す不能欠損を生じさせないためにも、収納対策実施計画に基づき、市町村と連携を図りながら、積極的かつ効果的な収納対策に取り組まれるよう要望する。

【参考】 令和4年度 各市町村保険料収納状況

市町村名		調定額 A 円	収納額 B 円	還付未済額 C 円	収入未済額 A-(B-C) 円	収納率 (B-C)/A %	不納欠損額 円
岡山市	現年分	8,249,027,200	8,228,409,569	12,339,650	32,957,281	99.60	0
	滞納繰越分	60,761,705	20,849,127	66,000	39,978,578	34.20	14,332,892
	合計	8,309,788,905	8,249,258,696	12,405,650	72,935,859	99.12	14,332,892
倉敷市	現年分	5,499,897,400	5,485,521,850	4,236,700	18,612,250	99.66	0
	滞納繰越分	27,846,361	14,108,619	0	13,737,742	50.66	5,851,150
	合計	5,527,743,761	5,499,630,469	4,236,700	32,349,992	99.41	5,851,150
津山市	現年分	1,051,462,200	1,049,215,733	1,194,000	3,440,467	99.67	0
	滞納繰越分	5,839,443	2,537,305	0	3,302,138	43.45	707,280
	合計	1,057,301,643	1,051,753,038	1,194,000	6,742,605	99.36	707,280
玉野市	現年分	850,426,700	849,589,200	1,282,300	2,119,800	99.75	0
	滞納繰越分	3,169,634	1,300,534	0	1,869,100	41.03	83,700
	合計	853,596,334	850,889,734	1,282,300	3,988,900	99.53	83,700
笠岡市	現年分	589,417,200	588,588,216	1,103,000	1,931,984	99.67	0
	滞納繰越分	2,430,200	1,098,958	0	1,331,242	45.22	120,650
	合計	591,847,400	589,687,174	1,103,000	3,263,226	99.44	120,650
井原市	現年分	481,814,900	479,545,950	147,500	2,416,450	99.49	0
	滞納繰越分	3,151,150	759,800	0	2,391,350	24.11	1,216,950
	合計	484,966,050	480,305,750	147,500	4,807,800	99.00	1,216,950
総社市	現年分	777,786,000	776,940,650	3,173,500	4,018,850	99.48	0
	滞納繰越分	7,858,450	2,091,400	0	5,767,050	26.61	2,191,100
	合計	785,644,450	779,032,050	3,173,500	9,785,900	98.75	2,191,100
高梁市	現年分	375,125,300	374,825,264	799,500	1,099,536	99.70	0
	滞納繰越分	2,799,400	1,681,280	0	1,118,120	60.05	199,840
	合計	377,924,700	376,506,544	799,500	2,217,656	99.41	199,840
新見市	現年分	369,598,300	370,985,800	2,804,500	1,417,000	99.61	0
	滞納繰越分	1,743,013	983,213	0	759,800	56.40	4,200
	合計	371,341,313	371,969,013	2,804,500	2,176,800	99.41	4,200
備前市	現年分	442,456,100	441,322,800	752,600	1,885,900	99.57	0
	滞納繰越分	3,329,300	1,302,160	800	2,027,940	39.08	376,980
	合計	445,785,400	442,624,960	753,400	3,913,840	99.12	376,980
瀬戸内市	現年分	470,101,100	467,836,020	448,800	2,713,880	99.42	0
	滞納繰越分	4,107,492	872,200	0	3,235,292	21.23	370,050
	合計	474,208,592	468,708,220	448,800	5,949,172	98.74	370,050
赤磐市	現年分	565,064,800	567,597,700	3,688,700	1,155,800	99.79	0
	滞納繰越分	2,246,678	469,648	2,600	1,779,630	20.78	53,700
	合計	567,311,478	568,067,348	3,691,300	2,935,430	99.48	53,700
真庭市	現年分	496,471,000	496,398,500	968,400	1,040,900	99.79	23,700
	滞納繰越分	974,521	459,490	0	515,031	47.15	196,000
	合計	497,445,521	496,857,990	968,400	1,555,931	99.68	219,700
美作市	現年分	302,501,600	301,414,600	498,900	1,585,900	99.47	0
	滞納繰越分	3,266,146	783,700	0	2,482,446	23.99	342,800
	合計	305,767,746	302,198,300	498,900	4,068,346	98.66	342,800
浅口市	現年分	476,057,600	475,403,974	724,900	1,378,526	99.71	0
	滞納繰越分	2,944,650	1,669,431	13,000	1,288,219	56.25	56,900
	合計	479,002,250	477,073,405	737,900	2,666,745	99.44	56,900

市町村名		調定額 A 円	収納額 B 円	還付未済額 C 円	収入未済額 A-(B-C) 円	収納率 (B-C)/A %	不納欠損額 円
和 気 町	現 年 分	190,672,100	190,342,300	423,100	752,900	99.60	0
	滞納繰越分	609,800	161,559	0	448,241	26.49	107,000
	合 計	191,281,900	190,503,859	423,100	1,201,141	99.37	107,000
早 島 町	現 年 分	175,250,300	174,417,400	96,900	929,800	99.46	0
	滞納繰越分	1,442,153	544,266	0	897,887	37.73	43,600
	合 計	176,692,453	174,961,666	96,900	1,827,687	98.96	43,600
里 庄 町	現 年 分	139,389,200	139,351,500	122,100	159,800	99.88	0
	滞納繰越分	227,500	61,840	0	165,660	27.18	0
	合 計	139,616,700	139,413,340	122,100	325,460	99.76	0
矢 掛 町	現 年 分	185,653,400	185,744,200	203,600	112,800	99.93	0
	滞納繰越分	726,700	590,050	0	136,650	81.19	11,500
	合 計	186,380,100	186,334,250	203,600	249,450	99.86	11,500
新 庄 村	現 年 分	9,271,900	9,249,100	0	22,800	99.75	0
	滞納繰越分	23,100	0	0	23,100		0
	合 計	9,295,000	9,249,100	0	45,900	99.50	0
鏡 野 町	現 年 分	126,954,800	126,603,800	296,400	647,400	99.49	0
	滞納繰越分	319,500	157,600	0	161,900	49.32	22,400
	合 計	127,274,300	126,761,400	296,400	809,300	99.36	22,400
勝 央 町	現 年 分	101,752,800	101,736,200	206,400	223,000	99.78	0
	滞納繰越分	456,500	274,500	0	182,000	60.13	0
	合 計	102,209,300	102,010,700	206,400	405,000	99.60	0
奈 義 町	現 年 分	63,026,600	63,089,900	63,300	0	100.00	0
	滞納繰越分	27,100	23,100	0	4,000	85.23	0
	合 計	63,053,700	63,113,000	63,300	4,000	99.99	0
西 栗 倉 村	現 年 分	12,721,400	12,551,800	107,600	277,200	97.82	0
	滞納繰越分	0	0	0	0		0
	合 計	12,721,400	12,551,800	107,600	277,200	97.82	0
久 米 南 町	現 年 分	64,479,100	64,414,900	85,400	149,600	99.76	0
	滞納繰越分	210,300	135,900	0	74,400	64.62	0
	合 計	64,689,400	64,550,800	85,400	224,000	99.65	0
美 咲 町	現 年 分	155,673,400	155,958,600	384,300	99,100	99.93	0
	滞納繰越分	527,704	477,800	0	49,904	90.54	0
	合 計	156,201,104	156,436,400	384,300	149,004	99.90	0
吉備中央町	現 年 分	117,677,700	117,924,200	311,000	64,500	99.94	0
	滞納繰越分	532,496	211,000	2,300	323,796	39.19	0
	合 計	118,210,196	118,135,200	313,300	388,296	99.67	0
合 計 (I)	現 年 分	22,339,730,100	22,294,979,726	36,463,050	81,213,424	99.63	23,700
	滞納繰越分	137,570,996	53,604,480	84,700	84,051,216	38.90	26,288,692
	合 計	22,477,301,096	22,348,584,206	36,547,750	165,264,640	99.26	26,312,392
【参考】 令和3年度 合計 (II)	現 年 分	20,884,591,500	20,843,874,580	29,314,984	70,031,904	99.66	21,200
	滞納繰越分	152,137,740	60,787,423	207,839	91,558,156	39.81	23,429,064
	合 計	21,036,729,240	20,904,662,003	29,522,823	161,590,060	99.23	23,450,264
差引増減 (I- II)	現 年 分	1,455,138,600	1,451,105,146	7,148,066	11,181,520	△ 0.03	2,500
	滞納繰越分	△ 14,566,744	△ 7,182,943	△ 123,139	△ 7,506,940	△ 0.91	2,859,628
	合 計	1,440,571,856	1,443,922,203	7,024,927	3,674,580	0.03	2,862,128

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計 歳 出 決 算 状 況

区 分		令和 4 年度 A	令和 3 年度 B	増、減(△) A - B
予 算 現 額		292,381,768,000円	287,333,124,000円	5,048,644,000円
支 出 済 額		292,371,743,800円	287,319,435,501円	5,052,308,299円
執 行 率		100.00%	100.00%	0.00%
翌年度繰越額	継続費通次繰越	0円	0円	0円
	繰越明許費	0円	0円	0円
	事故繰越し	0円	0円	0円
	計	0円	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%	0.00%
不 用 額		10,024,200円	13,688,499円	△3,664,299円

支出済額は 2,923 億 7,174 万 3,800 円で、前年度に比べ 50 億 5,230 万 8,299 円増加している。

予算現額 2,923 億 8,176 万 8,000 円に対し、100.00%の執行率となっている。

また、不用額は 1,002 万 4,200 円で、前年度に比べ 366 万 4,299 円の減少となっている。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款・項	令和 4 年度					令和 3 年度 支出済額 B	増、減(△) A - B
	予算現額 円	支出済額 A 円	執行率 %	翌年度 繰越額 円	不用額 円	円	円
総 務 費	827,143,000	827,130,818	100.00	0	12,182	784,089,759	43,041,059
保 険 給 付 費	278,293,915,000	278,293,911,962	100.00	0	3,038	267,654,998,358	10,638,913,604
特別高額医療費 共同事業拠出金	147,569,000	147,568,008	100.00	0	992	142,935,739	4,632,269
保 健 事 業 費	521,828,000	521,824,924	100.00	0	3,076	455,609,954	66,214,970
基 金 積 立 金	4,815,430,000	4,805,427,984	99.79	0	10,002,016	7,632,013,393	△ 2,826,585,409
諸 支 出 金	7,775,883,000	7,775,880,104	100.00	0	2,896	10,649,788,298	△ 2,873,908,194
うち被保険者還付金	25,543,000	25,542,073	100.00	0	927	26,437,200	△895,127
うち国庫負担金等償還金	7,524,581,000	7,524,580,071	100.00	0	929	10,623,265,098	△3,098,685,027
計	292,381,768,000	292,371,743,800	100.00	0	10,024,200	287,319,435,501	5,052,308,299

支出総額は 2,923 億 7,174 万 3,800 円で、この主なものは保険給付費、翌年度における精算のための基金積立金、前年度精算のための償還金である。

前年度と比較した主な増減については、

令和４年度からの団塊の世代の７５歳到達に伴う被保険者の急激な増加などによる保険給付費の１０６億３,８９１万３,６０４円増加、

令和４年度交付金の償還額（令和５年度払い）が令和３年度交付金の償還額（令和４年度払い）より減少したことによる基金積立金の２８億２,６５８万５,４０９円の減額、

令和３年度交付金の償還額（令和４年度払い）が令和２年度交付金の償還額（令和３年度払い）より減少したことによる国庫負担金等償還金の３０億９,８６８万５,０２７円の減額などである。

不用額の主なものは、基金積立金などである。

保険給付費のうち療養諸費の状況は次表のとおりである。

療 養 諸 費 の 状 況

年度	療養諸費額 A	前年度比	年間平均 被保険者数 B	療養諸費 件数 C	一人当たりの療養諸費	
					A	B
	円	%	人	件	円	
R元	256,441,996,023	103.49	293,938	8,612,444	872,436	
R2	248,301,953,577	96.83	297,093	8,272,863	835,772	
R3	254,385,386,042	102.45	298,406	8,420,626	852,481	
R4	262,929,689,610	103.36	307,520	8,706,079	855,000	

注)「療養諸費額」は、入院時療養費や療養費を含む「療養給付費」、「訪問看護療養費」及び「移送費」の合計額。(※「審査支払手数料」除く)

保険給付費のうち高額療養諸費の状況は次表のとおりである。

高 額 療 養 諸 費 の 状 況

年度	高額療養諸費額 A	前年度比	年間平均 被保険者数 B	高額療養 諸費件数 C	一人当たりの 高額療養諸費	
					A	B
	円	%	人	件	円	
R元	11,265,833,987	106.60	293,938	538,916	38,327	
R2	11,279,688,434	100.12	297,093	528,573	37,967	
R3	11,805,161,593	104.66	298,406	539,575	39,561	
R4	13,875,918,412	117.54	307,520	681,500	45,122	

前年度と比較した増加要因は、被保険者の増加および令和４年１０月開始の窓口負担２割導入による影響等によるものである。

4 財産に関する調書

令和4年度における財産の取得及び処分の異動状況は、次のとおりである。

(1) 公有財産

本年度末における公有財産はなく、本年度中の異動はない。

(2) 物品

本年度末における取得金額 100 万円以上の物品は3点で、本年度中の異動はない。

(3) 債権

本年度末における債権はなく、本年度中の異動はない。

(4) 基金

本年度末における基金は、前年度末より、岡山県後期高齢者医療広域連合財政調整基金が1億5,150万9,337円の増加、岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療給付費準備基金は40億2,000万1,389円増加している。増加した主な要因は、令和3年度国・県支出金の精算に伴う返還分の基金からの取崩が出納整理期間中の4月となったことによるものである。

基金名	令和3年度末 現在高	令和4年度中 増減	令和4年度末 現在高
岡山県後期高齢者医療広域連合 財政調整基金	13,972,049	151,509,337	165,481,386
岡山県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療給付費準備基金	7,207,356,427	4,020,001,389	11,227,357,816
計	7,221,328,476	4,171,510,726	11,392,839,202

5 むすび

○ 決算規模・実質収支について

決算規模は一般会計、特別会計を合わせた総額で、歳入 2,927 億 16 万円、歳出 2,926 億 8,689 万円となり、前年度に比べ歳入は 52 億 8,993 万円、歳出は 52 億 9,346 万円それぞれ増加している。

また、本年度の決算収支をみると、形式収支（歳入歳出差引額）は、一般会計で 313 万円の黒字、特別会計で 1,013 万円の黒字となっており、実質収支も同額の黒字決算となっている。

○ 歳入の状況について

予算現額に対する歳入決算額の割合は、一般会計で 99.14%、特別会計で 100.00%となっている。また、調定額に対する割合は一般会計で 100.00%、特別会計で 100.00%となっている。

なお、特別会計において、返納金の収入未済額が約 681 万円生じているので、その解消に努められたい。

また、市町村における保険料の収納率は、現年分と滞納繰越分を合わせて 99.26%で前年度比 0.03%上昇しているものの、1 億 6,526 万円の収入未済額が生じている。財政の一層の健全化と被保険者間の公平性を保つためにも、引き続き市町村と連携を図りながら収納対策に取り組むことが重要である。

○ 歳出の状況について

予算現額に対する歳出決算額の割合は、一般会計で 98.16%、特別会計で 100.00%となっており、一般会計で 591 万円、特別会計で 1,002 万円の不用額が生じている。

特別会計の歳出決算においては、主たるものは保険給付費であり、この保険給付費は前年度と比較して 106 億 3,891 万円増加している。保険給付費増加の主な要因は、令和 4 年から始まる団塊の世代の 75 歳到達に伴う被保険者数の急激な増加などがあげられる。

今後も高齢化の進展による被保険者数の増加に伴い医療給付費の増加が見込まれるため、医療費の適正化や被保険者の健康増進に継続して努める必要がある。

○ 今後の運営について

平成 20 年 4 月に後期高齢者医療制度が創設され 14 年が経過したが、制度開始時の被保険者数約 23 万 7 千人から、令和 4 年度末では約 31 万 3 千人と約 8 万人増加している。

さらに、「団塊の世代」が全て 75 歳以上となる令和 7 年に向け、被保険者数の急激な増加が見込まれ、それに伴う医療給付費の増加により、事業運営が厳しくなることが懸念される。

今後とも、国の動向や社会情勢を的確に把握した予算編成と効率的な予算執行を行うとともに、計画的な資金収支に留意して確実かつ効果的な運用に努め、被保険者が安心して医療を受けることができるよう鋭意努力されたい。